

✦学校アンケート 自由記述（保護者）

1年

- 挨拶の指導が行き届いていて、見知らぬ生徒でも気持ちの良い挨拶をしてくれるところが素晴らしいと感じます。

2年

- 学校に行った時に気持ちの良い挨拶をされる事が多く指導されている事が身についているように感じました。

*以下、全体に関わる内容に関して回答いたします。内容の確認を要するものや、個人が特定されてしまうもの、個別の案件等については、別途対応いたします。不明な点は、校長までお問い合わせください。

〔施設〕

- 各階に冷水器を設置してほしい。（熱中症予防のため）
- いつ行っても女子トイレが汚いです。使わせてもらう時、軽く掃除をしています。第二次性徴の大事な時期なので便座裏もちゃんと清掃してあげてほしいです。
- 施設が古すぎる。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">○ 冷水器については、設置場所、機材・工事費用及び設置後の維持管理に関する課題があり、現在のところ増設予定はありません。○ トイレ清掃は、生徒が当番制で行っており、改善方法の検討をいたします。ご家庭でも、トイレの使用方法について話題にしていただき、必要に応じてご指導をお願いいたします。○ 施設に関しては、練馬区の全小中学校での検討事項となります。老朽化に伴う補修等に関しては、随時区への要請を行っております。 |
|---|

〔部活動〕

- 部活の時間、日数が多すぎて勉強との両立が困難である。健康管理も難しい。部活動の時間が長いので勉強との両立が大変だろうと思う。
- 部活動の休みが多く、残念です。
- 部活動の種類や活動日数が少ない。子どもが入りたいと思える部活がないので、部活動に対する意欲が低い。
- 部活動の頻度についてガイドラインが守られているのか、チェックをお願いします。
- 部活動など生徒の安全を第一に考え指導をお願いしたい。
- 冬期18：30の部活終了後の下校時安全確保が気になります。冬期は暗くなるのが早いので下校時刻をもう少し早めにするなど考えていただけたらと思います。
- 部活動の種類が少ない。
- 卓球部を減らさないで欲しかった。入学前に無くなるのを知らせてもらいたかった。

- 部活動の活動日・時間について、今年度から都の部活動ガイドラインに則った運営を実施いたしました。大幅な改定に対しては、生徒・保護者の意見もさまざま、大きなとまどいの声も聞かれます。教育的効果、健康・安全配慮、学習への影響等をすべて勘案し、生徒にとってのよりよい活動とするべく、引き続きガイドラインに則った運営の徹底を図っていきます。
- 安全面については、今後も引き続き最大の配慮をまいります。
- 冬期の部活動は18：00までで、18：30は校門を出る時間です。活動・着替え・ミーティングの時間を確保することを考えると、15分～30分程度の短縮となります。それでも、冬季は17：00にはすでに暗くなっており、明るいうちに下校させることは難しい状況です。安全面に関しては、複数で、真っ直ぐに帰宅することを引き続き指導してまいります。ご家庭でもお話しくくださるようお願いいたします。
- 部活動顧問の業務としては、通常の活動日に加え、休日の大会・練習試合・コンクール・施設訪問の引率等があります。顧問によっては、役員として運営に携わらなければならない者もあり、また、複数会場での実施がなされる部もあります。こうした状況に加え、教員個人ごとの勤務時間・日数を考慮した場合、顧問の複数配置が必要となります。

本校の部活動数と教員数の割合からは、必要な複数配置ができていないというのが実情です。

また、外部指導員の申請もしておりますが、平日の夕方に、中学生に指導できる人材確保は容易でなく、要望に応えられていないという状況もあります。外部指導員にふさわしい方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介いただきたくお願い申し上げます。

部活動に関しては、生徒・保護者の願いに応じたく、常に頭を痛めているところです。そのあり方と運用の仕方については、今後さらに適正なものとなるよう検討してまいります。

保護者の皆様におかれましても、各顧問とよく話しあいいただき、子供たちのためによりよい活動となるように、ご理解とご支援のほど、重ねてお願い申し上げます。

〔 生活指導 〕

- 時々荷物検査をしていただきたいです。
- 子どもがスマホを使いすぎて困っています。石南ルールで夜10時以降はスマホ自体を禁止という事にしてほしいです。
- 校則をはじめ当該学年に限らず、年々乱れているように思える。過度な取り締まりは不要だが、下の学年にいくほど乱れていても見逃しすぎていると思う。特に制服は皆同じように着用すべき。ベストを着たり着なかったり、ジャージの上を制服に合わせるのはいかかなものか。標準服とはいえ、多様に成りすぎを感じる。
- 制服の移行期間、ジャージの着用制限をなくしてほしい。
- 運動部が体操着のまま下校できないのはなぜですか。冬は帰り道が暗いので少しでも早く帰宅させてほしいです。
- 子どもの側からタイトの着用不可はつらい。(学校寒すぎる)レギンスでも不可なのは何故か。
- 古風すぎているところは改善すべき。毎日のリュックサックの重さ 7.5kg ありました。重すぎます。おかしいです。
- 修学旅行の時の服についての説明、とても理解しづらいものでした。ジャージは○スウェットは×意味が分かりません。中学生らしい服とは、どのようなものでしょうか？スカートもキュロットもダメなら全員体育着のジャージと指定したほうがまだましです。

- 荷物検査の意図が不明ですが、お子様の持ち物については、各家庭でしっかりと管理してください。持ち物に限らず、「生活のきまり」に反した場合は、『きまりを守る意識の確立』という視点から、厳格に指導いたします。
- 本校では「石南中スマホのルール」を、生徒が主体となって策定しております。
 - また、学校教育の一環として、情報モラル教育をはじめとしてスマホ等の情報機器の安全な取り扱いに関する指導を、年間を通して、計画的に行っております。
 - 情報化の急速な進展という時代の趨勢の中、子供たちを様々なリスクから守り、また、情報機器の正しい使い手として育てるために、学校としてもこうした取組を実施しております。
 - そうした中、生徒が下校後に、スマホをどのように使っているのか、学校としては確認する術はございません。放課後の家の内外で、ポケットや、はたまた布団の中で、どんなアプリを使って、誰とやりとりしているのか、きちんと把握することは、子供たちを守り育てる保護者としての務めであり、最低限の義務です。
 - スマートフォン等をお子様へ貸し与えるのは、保護者です。スマホ等の使用に関するすべての判断と責任は、保護者にあるということを、改めてご理解ください。
 - 子供たちを守り、生徒たちを育てるという視点は、家庭も学校も同じです。子供たち、生徒たちの健全育成に、家庭と学校が両輪となっていければと存じます。
- 服装指導については、全校統一指導を行います。
- 標準服の着用期間、ジャージの着用制限、運動着での下校に関しては、検討いたします。
- タイツの着用に関しては、「生活のきまり」の見直しを図り、2月3日より、着用可といたします。
- 学用品については、家庭学習等で毎日持ち帰る必要のある物と、置いていっても差し支えない物があります。教室の個人ロッカーの容量にも限りがあり、なにかよい方策はないか検討しているところです。

〔いじめ〕

- つぶやくような小さな悪口・・・そこからいじめが始まるかもしれませんよね。もしも生徒がSOSを出した時には先生方も真剣に向き合ってください。ささいなことで胸を痛めている生徒がいるようです。
- 「いじめ」に対しての指導は？自分の子がいじめられていなくても少々気になります。

- いじめに関しては、朝礼・学年集会・道徳授業・学級活動等において、計画的に、また、適宜呼びかけを行い、生徒たちが主体的に考える時間を設けています。

また、いじめ撲滅に向けての生徒の具体的な活動として、『思いやりの木』を各学年で作成し、各階の廊下に展示し、自分たちの行動規範としていつでも見られるようにしております。学校公開にはぜひお越しいただき、日頃の生徒たちの様子共々ご覧いただくとともに、家庭でも、「いじめ」に対してどう考え、実践していくかを話題にしてください。

学校の取組としては、定期的ないじめアンケート実施はもちろんのこと、日頃から生徒の様子に気を配り、未然防止に努めると同時に、生徒・保護者の申し出に対しては、その都度、即時・的確な対応と、再発防止に向けた指導をしております。

本校では、“からかい”や、いわゆる“いじり”についても毅然と対応することを指針とし、執拗で、深刻な問題となる前に解決させる方向で指導に当たっております。

そうした中、学校生活の中ではなかなか見えない部分もあります。ご家庭で気になることがありましたら、すぐに、遠慮なく、ご相談ください。

〔 授業 〕

- 定期テストの回答だけでなく、考え方や解き方も指導して頂けたらありがたいです。
- 生徒の学力評価が厳しいと思います。テスト前後などの提出物の範囲を分けて定期的にしてほしい。
- 授業に遅れ気味の生徒に対して補習とかは無いか？

- 授業力の向上を図っていきます。
- 都の規定に則り、適正な評価・評定を実施しています。
- 昨年度実施しましたが、最終的に出席者が0となってしまいました。また、教科ごとに個別に呼びかけを行っていますが、部活動や習い事等が優先され、参加者が集まらないという現状もあります。効果的な運用が図れるように、検討いたします。

〔 その他 〕

- 働き方改革はよくわかりますが、子どもたちの学ぶ機会が減ってしまうことは非常に残念です。（組体操・部活動・文集）
- 卒業文集を続けていただきたいと願っています。人生の節目に教えたことを残しておくことは大切で皆で最後に作り上げる文集は思い出になりますので。
- きちんとした学校だと思う。反面この地域の子供の良さに助けられ、時代に合わせた積極的な活動が感じられない。パソコンや英語の授業の充実や子供たちの想像力を育てる行事を増やしてほしい。大人しい子どもが多い。

- 組体操については、重篤な事故の発生を受けての全国的な改善取組です。生徒の安全確保、命を守る視点からの決定ということをご理解ください。
- 卒業文集への思いを十分に拝察いたします。一生残る作品集であるだけに、その作成に当たっては、昨今、人権に対する意識の高まりとともに、文言・内容に対するチェック作業に対して、以前とは比べ物にならない厳格さが求められています。そうした中、卒業を控えた3学期は、進路及び卒業関連の業務がまさに繁忙期を迎えます。いずれもミスは絶対に許されないものであり、特に第3学年担当教員に業務が集中せざるを得ないことを鑑み、やむなく削減いたしますことをご理解ください。
- 教育課題に即した新たな取組を検討していきます。